

平成30年度 事業計画



のぞみ

社会福祉法人 希望

平成 30 年度 社会福祉法人希望 事業計画

《 目 次 》

1. 平成 30 年度 事業計画

1) 法人

基本理念・方針	1
はじめに	2
重点目標	3
年間スケジュール	5
2) のぞみ居宅介護支援事業所	
目標・実施要領・収入予測	6
3) のぞみ訪問看護ステーション	
目標・実施要領・収入予測	8
4) のぞみヘルパーステーション	
目標・実施要領・収入予測	10
5) デイサービスセンターほのぼの	
目標・実施要領・収入予測	12
6) 有料老人ホーム 二の郷	
目標・実施要領・収入予測	14
7) 福祉輸送事業(介護タクシー)	
目標・実施要領・収入予測	16
8) 障がい福祉サービスゆみと	
目標・実施要領・収入予測	18
9) 放課後等デイサービスのぞみ/児童支援	
目標・実施要領・収入予測	22
各種委員会	24
研修計画、職員教育	26

1. 法人

基本理念及び方針

基本理念

私たちは、利用者一人ひとりの“のぞみ”をかなえ、常に学び、利用者の人権を守り、安心して自立した生活が出来るサービスを提供します。

方針

1. 常に、お互いに守り支えあえる心を大切にします。
2. 常に、感謝の心とコミュニケーションを大切にします。
3. 常に、利用者に見配り・気配り・心配りをします。
4. 常に、地域との連携を大切にします。
5. 常に、利用者のために学びそれを活かします。

はじめに

平成 29 年度は、介護保険制度の改正の余波による基幹事業の低迷、介護人材不足の影響等により大変厳しい状況からのスタートとなりました。そのため、限られた人員での業務遂行や経営指標の見直しを図り、経営状況は、若干上向きに転じ始めています。

事業の面においては、児童福祉法に基づく放課後等デイサービス事業を開始し、児童福祉分野に挑戦しましたが、未だ厳しい状況にあります。障害福祉事業は、昨年が糧となり、順調に利用者数を増加させ、安定的に推移しております。介護保険事業は、有料老人ホーム二の郷の経営基盤の改善により、付随する各種サービスに好循環をもたらしております。

更に経営基盤を安定的に強化するために現状を把握し、全職員の意識と行動の改革、法人と職員の思いを一体化させ、新たな経営手法を取り入れ変革して参ります。

また、地域の社会福祉法人として地域に愛され、選ばれる法人となるために、地域の皆様と一緒に楽しむ事業や地域の福祉増進を図る事業を行って参ります。

地域と人々の“のぞみ”をかなえるために、理念に基づき行動し、地域の社会福祉法人としての役割を全うして参ります。

重点目標

・安定した運営基盤の強化

法人の安定的な運営を行うため、中期計画や組織及び体制を見直し、法人の運営体制、管理体制の強化を図ります。

・中長期計画、中期計画の策定

中長期・中期で法人の将来像を見据え、安定した経営を構築するため、計画の策定を行います。

・アメーバ経営による運営及び経営指標の設定

部門別採算事業運営や経営に必要な指標の設定の見直しを行います。

・規程・規則等の整備・見直し

法人運営に必要な規程・規則等の整理及び見直しを行います。

・外部委託と内製化の調整

外部委託している物品や業務について内容を精査し、内製化に努めていきます。専門性の高いものや内製化によるコスト増になるものについては、見直し外部委託にする等調整を図り、安定的な運営を図っていきます。

・地域に愛され、地域に選ばれる法人を目指す

地域に愛され、地域に選ばれる法人を目指し、法人や事業所の活動状況を広報し、利用者の拡充につなげていきます。また、多様なサービスの提供と必要に応じた施設整備を計画していきます。

・ニーズに応じた多様なサービスの充実

ニーズに応じるためサービスの選択肢を広げ、充実を図ります。

・利用者数の拡大

サービス基盤を強化するため、利用者数の拡大を図ります。

・法人及び事業所の広報活動

地域に愛され、選ばれる事業所になるため、法人や事業所の活動状況を広報していきます。

・施設整備計画の策定

修繕等を踏まえながら計画を行い、児童福祉関連施設及び障害者福祉施設の整備計画を図っていきます。

・人材の育成と職場づくり

法人の最重要資源は、人材です。「求める人材像、求める力」を明らかにし、職員の資質向上と働きやすい職場づくりを職員一人ひとりが自ら行っていきます。

・研修計画による研修の充実と職員の資質向上

研修計画を策定し、法人内研修の実施や外部研修の受講により、職員の資質向上を図っていきます。

各種レベル別や階層別の研修を実施し、スキルアップと共にステップアップを図っていきます。

・人材採用計画と育成計画の策定及び就職説明会の実施・参加

人材採用計画、育成計画を策定し、法人が求める人材像に近づけるよう人を育てる力を養います。また、就職説明会の実施や外部の就職説明会に積極的に参加し、優秀な人材確保に努めて参ります。

・キャリアパスシステムと連動した昇給制度の見直し

現行のキャリアパスシステムを精査し、そのシステムと連動した昇給制度の構築を行います。

・協力し合える職場づくり

各事業所のシフトを柔軟かつ横断的な調整を図り、有給休暇の取得向上や特別休暇の付与等を行います。

同じ法人で働く仲間として、協力し合える体制を作っていきます。

・地域に寄り添う

地域にある法人として地域に寄り添い、地域の福祉力向上を図っていきます。

・地域との交流活動

のぞみ祭り等の地域貢献活動やワンコイン事業の充実を図り、地域住民の福祉増進につなげていきます。

・地域雇用の促進とユニバーサル雇用の促進

年齢や障害の有無も関係なく、地域の働く力を活かし、安心して意欲を持って働ける社会の実現に向けて、貢献していきます。また、積極的にボランティアを受け入れ、地域福祉力の向上に努めます。

・子どもが安心して暮らせる環境づくり

地域の未来を担う子どもたちが、生きる力を育む支援拠点を整備していきます。

年間スケジュール（案）

日程		内容	備考
4	4/2	入社式	
5	5/30	監事決算監査	
6	6/13	定時理事会	
	6/27	定時評議員会	
	6/30	歌声喫茶	
7	7月中	法人内研修	
8	8/18	のぞみ祭り	
9	9/17	敬老会	
10	10/14、15	研修旅行（函館方面）	
11	11月中	定時理事会	
12	12/15	忘年会	
	12月中	苦情第三者委員会	
1	1月中	新春もちつき大会、法人内研修	
3	3月中	二の郷運営懇談会、定時理事会	

運営・経営会議 毎月第4週木曜日運営連絡会議 毎月第4週アメーバ経営会議

2) のぞみ居宅介護支援事業所事業所

(1) 目標、実施要領

目 標

利用者の人権を尊重した支援をします

(目標の背景を記載)

支援者として気付かないうちに、利用者に対して言葉の虐待や人権を無視した行為を行っていないか、スタッフそれぞれ振り返る機会を持つ事により、支援者としてのスキルを高められるようにしたい。

(実施要領)

サービスの充実と促進

- ア. 高齢者虐待の知識を深める為に関係する研修会へ参加する。
- イ. 関係機関と連携を取り虐待の早期発見に繋げられるようにする。
- ウ. 法人内で身体拘束や虐待が起きていないか、利用者に対して尊厳のある対応ができて
いるか、身体拘束・虐待防止委員会と共に検証する。
- エ. 事業所内での月2回の伝達会議の開催や年1回の満足度調査、自己評価を実施しニーズの把握や自身の振り返りを行なう。

地域貢献と人材育成・広報活動

- ア. 認知症サポーター研修会を地域で開催できるよう教育委員会と協力し実施する。
- イ. 三沢市在宅医療・介護連携推進協議会が行なう、他職種連携研修に参加する。
- ウ. 地域の関係機関との繋がりを深める。
- エ. 新人育成を行い切れ目のない支援体制を整え、世代交代をスムーズに行う。
- オ. 介護支援専門員実務実習生や看護学生の実習受け入れを積極的に行い人材確保に繋げる。

カ.各団体の役員会、委員会、地域行事等に積極的に参加し、地域の方々と顔馴染みの関係を構築し、法人の知名度アップや実施している事業内容をアピールする。

(2) 収入予測

平成 30 年度収入予測 14,068,680 円

介護保険利用者 目標人数 94 名

3) のぞみ訪問看護ステーション

(1) 目標、実施要領

《 目 標 》

住み慣れた環境で利用者が安心して、在宅生活を送ることが出来る
看護ケアを提供します。

(目標の背景)

団塊の世代が75歳以上になる2025年を目処に要介護者や末期がん患者らが地域で暮らすことを可能とする環境の形成が目指されている。

平成30年介護報酬・診療報酬が同時改定され、「24時間対応の訪問介護・看護」や「在宅医療の充実」が強化され、在宅での看取りが本格化します。その為、利用者や家族が安心して在宅生活を送れるよう支援していきたいと思います。

(実施要領)

サービスの充実と促進

ア.医療を必要とする利用者・家族の支援

・認知症・精神看護に対する理解を深め、適切なケアが出来るよう、他職種との連携を密にしながら支援します。

イ.在宅医療が増えて行くことに備えて、その人らしい生活が送れるよう在宅看取りの支援をします。

人材の育成

ア.定期的な勉強会の開催や外部研修に参加し(特に認知症・精神訪問看護や家族との関わりなど)知識を深め実施出来るようにします。

・新しい医療機器や薬剤の知識、看護技術など深めるために県内外研修に参加しスキルアップを図ります。

その他

- ・青森県立保健大学の実習学生の受け入れを継続し、在宅医療における訪問看護の役割を指導します。

(2) 収入予測

平成 30 年度収入予測 37,687,340 円

介護保険利用者 目標人数 28 名

医療保険利用者 目標人数 6 名

4) のぞみヘルパーステーション

(1) 目標、実施要領

目 標

専門性を発揮した知識とケアで、その人らしい「のぞむ暮らし」を実現するためのサービスを提供します。

(目標の背景)

平成30年度は、介護保険の改正があり、改正内容を正しく理解し、変化にも対応できる知識、技術を向上する必要があります。

介護技術の標準化と計画的なOJTの推進で「できる力」と「わかる力」を向上し、利用者一人ひとりのニーズに合ったサービスの提供ができるよう、訪問介護員の意識統一を図り、利用者から選んでもらえる事業所を目指していきたいと思います。

(実施要領)

サービスの充実と促進

ア.利用者の安心感とニーズを尊重したサービス提供の為、介護保険外サービスを展開します。

イ.報連相を徹底し、ケアマネ、他職種、関係機関との緊密な連携を強化します。

ウ.今後の介護保険の動向や情報収集に努め、多様化する複雑なニーズに対応できる柔軟な発想を養います。

エ.専門職としてケアの根拠を学び、自身のスキル向上につなげます。

オ.年1回の満足度調査だけでなく、定期的に利用者やご家族へサービスに対する意見を求め、質の向上を目指します。

人材育成と働きやすい職場づくり

ア.介護職員の処遇改善を図る目的としてキャリア段位制度を活用し、処遇改善加算率 13.7%を維持します

イ.目標管理と連動した研修システムを実施し、目標を細分化することで資質の向上を図ります。

ウ.働きやすい職場づくりとして多様な働き方を認め、職員定着率の向上を目指します。

エ.事業所間での協力し合える体制づくりを強化し、急なシフト変更でも質を落とすことなくサービス提供が出来るよう取り組みます。

(2) 収入予測

介護保険収入	<u>53,664,960 円</u>
訪問型サービス収入	<u>1,261,080 円</u>
処遇改善加算 (13.7%)	<u>7,524,868 円</u>
収入合計	<u>62,450,908 円</u>

5) デイサービスセンターほのぼの

(1) 目標、実施要領

目 標

利用者の日常生活や心身の状況を理解し、可能な限り居宅において利用者が自立した日常生活がおくるために機能訓練を行うことにより、社会的孤立感の解消及び心身機能の維持、ご家族の身体的・精神的な負担を軽減できるよう支援いたします。

(目標の背景)

利用者の増員を図るためには、地域包括支援センター及び居宅介護支援事業者と連携を密にしなければなりません。また、利用者が健康に暮らすためには、自立支援の強化と機能訓練の充実を図らなければなりません。本年度は、この自立支援の強化と機能訓練の充実を計画的に行い、利用者の意欲・満足の増進を図るよう実施して参ります。

(実施要領)

ニーズに応じた多様なサービスの充実

ア.新規の利用者、体験利用は、担当の介護支援専門員と連携のもと、身体的、精神的な負担が最小限になるようにサービスの提供に努め、その人らしい日常生活がおくれるように支援を行います。

イ.個別機能訓練、口腔機能向上、集団体操、レクリエーションを通して心身機能の維持向上を目指し、個々に応じた自立支援に努めます

ウ.季節を感じて頂けるようなイベントを計画し、利用者の意向及び趣味を考慮しつつ、意欲・満足増進できるように個々に応じた自立支援に努めます

利用者の拡充

- ア. 地域包括支援センターや居宅介護支援事業所等他機関と連携し、体験利用の充実と拡大を図り、利用者数の増員を図ります。
- イ. 個浴サービス・個別機能訓練の利点を活かした利用者の促進を図っていきます。
- ウ. 総合事業を積極的に受け入れ、アクティビティの取り組みを行い、要介護になった場合も継続して利用できるようにしていきます。

研修の充実と職員の資質向上

- ア. 目標管理シートをより活用し、研修の計画、積極的な参加を行い、知識及び技術を習得します。
- イ. 資格習得に積極的に取り組み、加算につなげるようします。
- ウ. 介護職員の処遇改善を図る目的として、キャリア段位制度を活用し、加算率 5.9%を維持していきます。

(2) 収入予測

平成 30 年度収入予測	<u>63,023,000 円</u>
介護保険利用者 目標人数	<u>46 名</u>
総合事業保険利用者 目標人数	<u>20 名</u>

6) 有料老人ホーム二の郷

(1) 目標、実施要領

目標

誰もが住みたい、住み続けたいと思う生活環境を整え、

選ばれる有料老人ホームを目指します。

(目標の背景)

利用者の方々が住みやすく、安心、安全な環境だけでなく、利用者に接する職員一人ひとりの接遇等も住み続けたい有料老人ホームの環境であると考えます。また、積極的に情報を発信し、住んでみたいと思う有料老人ホームにしなければなりません。

今年度は、26室から27室と居室が一部屋増えることから、一人でも多くの方に住み続けたいと願う環境を整え、憧れの有料老人ホームを職員一同で創り上げていきます。

(実施要領)

誰もが住み続けたい生活環境

- ア.清潔さの維持、温度・湿度管理、換気管理等の実施
- イ.建物、備品等の不具合個所の修復・改善
- ウ.利用者とその家族に寄り添ったコミュニケーション
- エ.とくし丸による買い物やレクリエーションによる生きがいづくり

誰もが住みたいと選ぶ有料老人ホーム

- ア.空室状況の情報提供
- イ.地域、病院等関連機関との連携

職員の資質向上

- ア.挨拶や言葉づかい等TPOに応じた接遇
- イ.専門性を活かした利用者支援
- ウ.職員相互の協働意識の高揚と実践

(2) 収入予測

平成 30 年度収入予測 32,000,000 円

年間目標入居率 96%

7) 福祉輸送事業(介護タクシー)

(1) 目標、実施要領

目 標

地域の介護タクシーとして安心・安全に移動できるよう
支援していきます。

(目標の背景)

地域に住む高齢者・障がい者等の移動困難者が、安心・安全に外出できるよう支援していきます。

(実施要領)

交通事故ゼロを目指します。

ア.安全教育や定期的な車両整備を行います。

イ.危険個所を予測し、安全運転に心がけます。

ウ.長時間運転にならないように運転スケジュールを調整します。

新規顧客獲得と固定客のリピート率を向上させます。

ア.居宅介護事業所や病院・クリニック、薬局などにPRを行い、新規顧客の確保に努めます。

イ. 駅や空港等にパンフレットを置く等PR方法を工夫し、夏季の売上強化に努めます。

(2) 収入予測

平成 30 年度収入予測 1,920,000 円 (160,000 円/月)

利用者 年間目標延べ人数 900 名

利用者 月間目標延べ人数 75 名

8) 障がい者福祉サービスゆみと

ゆみと就労支援事業所

(1) 目標、実施要領

目 標

その人の強みを活かし、自信につながる支援を行い、就労の喜びを感じられる
事業所を目指します。

(目標の背景)

人は、働く意欲を失い、社会に出る意欲を失うと生きる希望を失います。地域においては、そのような人が多くなると地域の力も弱まっていきます。

当事業所は、そのような方々を少しでも多く支援するために、先ずはその人の持つ強みを活かした支援を行い、その強みが自信につながる支援を行っていきます。

そして、就労の喜びを感じ、更にステップアップできる力を支援していきます。

(実施要領)

その人の状況に応じた支援

ア. 体調確認や薬の服薬状況を確認し、その人に合った就労を提供します。

イ. スモールステップによる支援を行います。

関係機関との連携

ア. 相談支援事業所や他の就労支援事業所、市町村窓口、養護学校等と連携を図るために定期的に情報提供、情報交換を行います。

イ. 病院や薬局等と連携を図り、症状や薬の作用を理解し、支援に活かします。

受注生産品・外部委託受注量の向上と工賃アップ

ア.受注生産品・外部委託受注量を増やし、収入の安定化を図ります。

イ.収入が向上した分を、工賃に反映させます。

(2) 収入予測

平成 30 年度収入予測 9,883,700 円

(給付費 : 8,865,300 円 外注受注費 : 1,018,400 円)

利用者 目標人数 9 名 (9/10 名定員)

8) 障がい者福祉サービスゆみと

ゆみと相談支援事業所

(1) 目標、実施要領

《 目 標 》

利用者がこれからの生活に希望が持てる計画を作成し、
サービスにつなげていきます。

(目標の背景)

人は、誰しも夢や希望が無ければ、楽しい生活を送ることは出来ません。そのためには、その人が将来どういう生活を希望し、また家族が心配しない生活を送ることが必要です。

利用者がのぞむ生活のためにその人の声に傾聴し、必要な情報を集め、関連機関と連携し、サービスにつなげていきます。

(実施要領)

利用者が満足するための計画作成

ア.利用者及び家族の声を傾聴し、計画・モニタリングに反映させます。

関係機関との連携

ア.家族、市町村窓口、各事業所、学校等と連携を図り、広いネットワークでその人の生活を支えられるよう支援していきます。

(2) 収入予測

平成 30 年度収入予測 388,840 円

利用者 目標人数 12 名

9) 放課後等デイサービスのぞみ

(1) 目標、実施要領

目 標

子ども達が毎日、笑顔で楽しい生活が送れる療育支援を目指します。

(目標の背景)

子ども達のなかには、持っている強みを理解されずに、そのまま大人を向かえてしまうケースがあります。未就学の段階から子ども達に関わりながら療育を行うことにより、目の前の小さな「できた！」が、おおきな「できた！」になり、将来に向けての生きる力を養う支援が必要です。

昨年度は就学児対象とした事業開設し、本年度は未就学児を対象とした事業開設予定とし、引き続き運営の準備を図っていきます。また、安心して利用できる環境を整え、自主性の視点を大切にしながら子ども達の能力向上を支援し、保護者や関連機関との連携を強めていきます。

(実施要領)

安心して利用できる環境の整備

- ア.子ども達に合わせた個別プログラムの整備に努めます。
- イ.個別活動や集団活動に必要な備品の整備に努めます。

サービスの充実

- ア.職員の資質向上と人材の育成に努めます。
- イ.保護者及び福祉、学校等関連機関との連携の強化に努めます。

経営基盤の安定化・広報活動

ア.市町村福祉機関への情報提供や母子教室等に参加し、関係機関との連携の強化を図りながら利用者の促進につなげます。

イ.長期休暇日は、教育機関等への情報提供を行っていきます。

(2) 収入予測

平成 30 年度収入予測 6,675,600 円

児童発達支援利用者 目標人数 (未就学児童) 4名

(就学児童) 3名

各種委員会

安全推進委員会

ヒヤリ・ハット対策やインシデント対策、感染症対策を検討し、実施する。

身体拘束・虐待防止委員会

身体拘束および虐待防止対策を検討し、実施する。

教育委員会

職員の接遇、最新動向、法人内研修等勉強会や研修会を調査・企画・運営し、実施する。新人教育プログラムを調査・検討し、実施する。

広報委員会

法人内広報誌の作成、ホームページの検討・更新、法人PRパンフレット・ポスター等を企画し、実施する。

法人研究・業務改善委員会

法人内の仕組み、新規事業等の研究・検討・企画や業務改善の検討、特に業務改善制度（要綱）を策定、実施する。

行事実行委員会

歌声喫茶・のぞみ祭り・もちつき大会を企画・運営し、職員一丸となった行事を実施する。

アメーバ経営研究委員会

プロジェクトメンバーを中心とし、各事業所においてアメーバ経営の運用を率先して実施する。

給食委員会

二の郷及びデイサービスセンターほのぼのの給食における嗜好調査や献立の企画・検討、実施する。

苦情対応委員会

法人及び法人事業に関する苦情に対して適切に対応し、迅速な改善を図る。

研修計画・職員教育

法人全体

1 経営者意識を持つ人材の育成、環境づくり

事業所ごとに部門別採算管理を行い、職員一人ひとりが経営者意識を持ち、各事業所の目標に挑戦し、達成する組織風土を養っていくようアメーバ経営を導入し、人材育成を行っていきます。

2 新人研修の充実

入社から新卒、1年目～3年目に対しての研修計画を立て、充実化を図り、職員の安定化・定着化を図ります。

3 研修旅行の実施

法人の団結力、職員のモチベーションアップを図るため、本年度は、研修旅行を実施します。平成30年10月14、15日に函館方面を予定します。

各事業所

各事業所において部門会議や職員会議での情報共有、知識共有の他、事業所ごとの研修カリキュラムに沿って研修を実施し、職員の資質向上に努めます。